

## 15 打楽器

### 【打楽器について】

一言で打楽器というが、その種類は実に多彩である。近代オーケストラにおいても、定席を持ついくつかのほかに、多くの打楽器が参加する。しかもそのうちには、民俗打楽器に分類され得るような特殊なものまで含まれる。

できるだけ多くの実物に接すると同時に、その多彩さに幻惑されぬことも、また大切である。

#### 《打楽器のピッチ（Pitch）について》

打楽器の音は発音体の材質や形状にかかわらず、弦楽器や管楽器に比べ倍音構成が極めて多彩である。言い換えると、調和倍音（整数倍音）の関係にない多くの部分音（非整数倍音）で成っている<sup>1)</sup>。そのため、オーケストラの他の旋律楽器のようなピッチ（Pitch）一音律一を感じさせない楽器が多い。

#### 《さまざまな撥（Stick）について》

撥（Stick）を使って奏する打楽器にはそれぞれの撥があるが、他に転用されることもある。

- Felt Stick…棒先にフェルトがついている。硬さは様々である。
- Wooden Stick…木製。柄の先が円筒のものと球形のものがある。
- Wire Brush…金属製。針金の小さなほうきのようなもの。
- Xylophone, Glockenspiel等のStick…様々な材質の球形のKnobがある。

### 【Timpaniについて】

---

<sup>1)</sup> すべての周波数成分を均等に含む音をWhite noise（ホワイト・ノイズ）というが、Wire BrushでSnare DrumをRollすると、これに近似の音がでるといふ。

Timpaniは、多くの膜鳴打楽器のうちでも数少ない、明確なピッチを有する楽器である。単面鼓で、形状は鉢形ドラムに分類される。

オーケストラにおいて定席を持つ打楽器はTimpaniだけだが、その理由のひとつは、他の打楽器にないこの明確なピッチによって、弦管楽器の音色と融和しやすいところにあると思われる。

#### 《膜の材質》

膜質は、音色を決定する重要なものである。

他の膜鳴打楽器と同じく獣皮が長く使われてきたが、近年は合成樹脂のものが一般である。

#### 《Pedalの操作について》

楽器の音律を調整するには、膜面の張力を変化させねばならない。このため、さまざまな機構が考えられてきた。

18世紀までは膜の円周に取り付けられた数個所のネジで、19世紀にはこれが一個所のハンドルに変わった。いずれも、調律のために演奏を中断する必要があった。

今世紀になって、共鳴胴下に取り付けられたPedalひとつで、即座に無段階で調律できる、Pedal Timpani (Cromatic Timpani) が実用化され、これが現在主流となっている。

#### 《音域について》

オーケストラでは通常、2～4台を組み合わせて使用する。様々なサイズがあり音域も違うが、たとえば以下のようなものである。



## 《Timpaniの奏法について》

Timpaniに限らず膜鳴打楽器はすべて円形の膜面をもっているが、その中心を打っても音は響かない。中央部を外し周辺を打つのが普通である。

Timpaniは余韻が長いので、打奏のあいだも絶えず手指で膜面を押えてDamp（消音）しつつ、演奏していく。

## 《音色の変化》

- 打つ膜面位置による音色の変化…Timpaniに限らず膜鳴打楽器はすべて円形の膜面をもっているが、その中心を打っても音は響かない。中央部を外し周辺を打つのが普通である。しかしTimpaniの膜面は広いので、周辺縁部から中央近くまで、打つ位置によって音色をかなり変えられる。
- 撥による音色の変化…Timpaniの通常の撥は、スポンジあるいはフェルト製の頭部を持つものを使うが、その他にも木製の撥や、さらにはMaracasで打つことさえある。

## 《Glissando》

Pedal Timpaniでは、演奏しながらPedalを操作しGlissandoを聴かせることができる。その音程はもちろん一個のTimpaniの音域に限定されるので、5度前後が最大となる。

次の譜表は、Roll（撥のTremolo）によるcrescendoを伴う、減5度の上行Glissandoの例である

Bartók: Sonata for Two Pianos and Percussion

Tempo I (♩ =  $\text{♩}2$ )

Timpani

【打楽器のさまざまなルーツ】

- Timpani…中世アラブ起源といわれる。
- Bongo, Conga…アフリカ起源、ラテン・アメリカで発達。
- Cuban Timbales, Maracas, Guiro, …ラテン・アメリカ系。
- Marimba…グアテマラより。
- Tambourine…直接はヘブライまたはスペインより、古くはギリシャ・エジプトから。
- Castanets…ムーア人の原産だが、スペインの郷土楽器となる。
- Cymbal, Bell…世界中に種々のものがある。
- 叩き鐘…古代中国から東アジアに広がる。
- Tam-Tam…中国原産。